



新たな政策に挑戦続ける

長島町長 川添 健

あけましておめでとうござい
ます。町民の皆さまには、希望
に輝く新年をお迎えのことと、
心からお喜び申し上げます。

わが国は昨年、明治維新
150周年を迎え、大きな変革
期における郷土の先人たちの志
や偉業を振り返りました。

本年は皇位継承を控え、平成
という時代に対する国民的な関
心の高まりと相まって、その歴
史的な節目としての重みをより
一層増しています。

さらに、消費税率アップなど
生活者の意識・行動変化につな
がるトピックスがいくつも予定
されています。景気の先行きが
不透明ななか、東京オリンピック
・パラリンピックに続いて、
大阪万博の誘致が決定し、建設
特需などによる経済波及効果に
期待感が高まっています。

このような中、長島町は本年

で合併14年目を迎えます。これ
までに、福祉事務所の開設をは
じめ、子育て支援では、小・中
学生の給食費無償化、ブリ奨学
金制度の創設など、行政改革で
は、道路管理や入会林野事業の
権限移譲など、全国モデルを展
開してきました。地方創生の先
駆けとなった、国からの人材支
援受け入れもその一つです。

さらに、フラワールードの整
備やイベント開催による交流人
口の増加、公共事業の積極的な
導入による社会資本の整備、農
業・漁業など産業の振興、チャ
レンジ事業や太陽光補助金など
による集落応援事業など、さま
ざまな施策を進めており、確か
な手ごたえを感じているところ
です。

一方、社会経済情勢は大きな
変革のときを迎え、特に少子高
齢化は急速に進んでいます。そ

の影響を最も受けるのは地方で
す。今後10年間を見据えた構想
や、この4年間で予定される大
型事業に取り組み、地方創生へ
の工夫を凝らした事業を導入し
て展開していきます。

そして「住民の皆さまが満足
できるまちづくり」をさらに推
進してまいります。

その中で、広域的、長期的な大
型プロジェクトとして、西回り自
動車道・北薩横断道路の整備促進
により、住民の利便性の向上に寄
与するだけでなく、その効果を、
町の振興や活性化につなげてい
なければなりません。

大型架橋構想として、鹿児島
・熊本・長崎を結ぶ3県架橋の
実現のために、周辺自治体を巻
き込んだ国・県への要望活動な
どを行ってまいります。

獅子島島民はもとより、長島
町の悲願であります獅子島架橋

の推進につきました。1年で
も早く達成するために、獅子島
島民の意向をみながら、今後も
努力を重ねていく所存です。

平成29年に「長島町第2次総
合振興計画」を策定し、その取
り組みをスタートさせました。

東分遣所の完成を皮切りに、総
合運動公園や多目的広場、高速
通信網ファイバーの整備、さ
らには木材利用促進の補助金を
活用した鷹巣診療所新築や役場
庁舎の本所支所方式移行計画の
具体化など、大型事業も着々と
進めていきます。

私は常に申し上げていますよ
うに、多岐にわたる施策も活力
も、健全な財政との調和が必要
不可欠であります。しかしなが
ら、余分な財力を持つ必要もこ
ざいませぬ。要所要所には十分
に気配りしながら、活力ある、
魅力ある長島町づくりに努めて

まいります。

今後も、「子どもに夢を」、「働
く人に活力を」、「福祉・教育・
文化の充実」、「地方創生で全国
にPR」を図り、新しい政策に
挑戦し続けます。

この新年が町民の皆さま一人
ひとりにとつて、実り多き素晴
らしい一年となりますよう、心
から祈念申し上げ、新年のご挨拶
といたします。